

令和6年度第3回  
蓮田市地域包括支援センター運営等協議会会議録

- ・ 日 時 令和7年3月13日(木)午後5時～午後6時
- ・ 場 所 市役所201会議室
- ・ 出席状況

会長	八代 皇璽	出席	委員	石井 純子	出席
副会長	田中 健太郎	出席	委員	今永 光彦	出席
委員	沼田 由理	出席	委員	内村 裕香	出席
委員	吉岡 洋一	出席	委員	山本 小百合	出席
委員	金澤 孝志	出席			

- ・ 出席職員（事務局）

健康福祉部 森上部長  
在宅医療介護課 鈴木課長、小澤副主幹  
長寿支援課 深井課長、中地副主幹、福森主任  
蓮田市蓮田地域包括支援センター 石山センター長  
蓮田市閩戸平野地域包括支援センター 高島センター長

- ・ 傍聴者 0人

- ・ 会議内容

**1 開 会**

**2 委員の委嘱**

**3 あ い さ つ … 山口市長**

**4 会長及び副会長の選出**

**5 議 題**

- ・ 事務局による出席・欠席委員の報告及び会議成立の報告
- ・ 傍聴人の報告 … なし
- ・ 配布資料の確認 … 次第、資料「令和7年度蓮田市地域包括支援センターの運営について」、「令和7年度蓮田市地域包括支援センター運営方針」、「令和7年度事業計画書」、

- ・八代会長が議長となり進行

### (1) 地域包括支援センターの運営について

- ・事務局より、令和7年度蓮田市地域包括支援センター運営方針について説明。

委員：チームオレンジの現状や認知症サポーターの活動状況について伺いたい。蓮田市は認知症サポーターが約7,000人いるようだが、増えている理由は。また、マッチングという話があったが、これは認知症のかたと認知症サポーターを組み合わせるのか、方法を知りたい。

事務局：認知症サポーター養成講座の受講者には、地域で認知症のかたやその家族を支えることをお願いしていました。チームオレンジとは受講者が、認知症のかたやその家族にアプローチして接点をもって支えていくものです。市内にはチームオレンジが2つあります。

一つ目は西新宿4・5丁目自治会で実施しているはすぴい元気体操のチームです。こちらは認知機能が低下しているかたも参加していますが、認知症サポーターが参加者を送迎するなど、配慮ある活動をしています。

また、チームオレンジになるには、認知症サポーター養成講座を受講するだけでなく、ステップアップ講座を受講することも条件として付されていますので、認知症サポーター養成講座とともにステップアップ講座を受講していただき、チームオレンジとなります。

二つ目は閩戸・平野圏域で展開しているチームオレンジで、地域の認知症に関わる施設の見学などを重ね、活動を行っています。個人としてはグループホーム等のイベントの手伝いや地域交流などさまざまな活動があります。マッチングというのは、チームオレンジの個々のメンバーの活動として、どういった活動だったらメンバー自身ができるかというのを、合わせていくことです。

また、認知症サポーターが増えている理由としては、小学校や中学校で授業の一環として認知症サポーター養成講座を実施していただいていることが挙げられます。

委員：マッチングというのはチームオレンジとサポーターを繋げるのか。

事務局：チームオレンジの活動の場を市から紹介したり、認知症カフェに働きかけたり、ボランティアとして活動する場を調整することを想定しています。

会長：認知症ケアパスの普及状況や進捗状況は。

事務局：当初、認知症ケアパスは認知症のかたの対応に困っている家族や関係者に渡すことを想定していました。しかし、認知症のかたへの対応方法や相談窓口が非常にわかりやすく掲載されている情報誌となっておりますので、身近なかたからお配りいただき、情報を広めていくということで普及啓発に活用しております。今年度は認知症サポーター養成講座を受講したかた全員にお配りさせていただき、年間にしますと300部くらい配布しております。

- ・事務局より、令和7年度事業計画書について説明。

委員：地域包括支援センターの具体的な周知方法は。

黒浜：広報はすだに相談窓口として、各地域包括支援センターの連絡先を掲載しており、年に1度は、生活体制整備事業や認知症などの特集記事の掲載もあります。また、地域包括支援センターごとにチラシを作製して民生委員やケアマネジャーから配布していただいております。

蓮田：地区のかたから要望があれば集会所などに出向いて介護保険などについて説明しています。何かありましたら地域包括支援センターに行けばいいと思われるような関係性を少しずつ構築しております。

閩戸・平野：チラシの配布や持参のほか、年に4回閩戸・平野地域包括支援センター便りを発行しております。

事務局：介護認定結果の通知の中に、居宅介護支援事業所の案内とともに地域包括支援センターについて記載したものを送付しております。また、民生委員と年に1回、88歳以上のかたに敬老祝品をお渡ししております。その際に地域包括支援センターについてのチラシを民生委員からお配りしております。

委員：使用料及び賃借料の項目で、各地域包括支援センターの予算額に差があるが、それぞれ何台の自動車をリースしているのか伺いたい。

黒浜：2台です。市の敷地内に駐車しているため、駐車場代は賃借料に入っておりません。

蓮田：2台です。駐車場代も賃借料に入っております。

閩戸・平野：2台です。駐車場は特別養護老人ホーム吾亦紅の公用車駐車場を使用しているので入っていません。電算システムリース代は賃借料ではなく、委託料の項目の中に入っています。

会長：黒浜地域包括支援センターの予算額が令和6年度と比べて減少しているように思われるが、その要因は。

黒浜：来年度は黒浜地域包括支援センターを所管している在宅医療介護課が長寿支援課と統合するため、課長級の職員が1名減ることになります。そのため、予算案としては1名分の人件費を削減しております。なお、地域包括支援センターの職員数としては変更ありませんので、センターとしての機能に影響が出ることはございません。

## (2) その他

- ・事務局より来年度協議会の予定について説明。

**6 閉 会** … 田中副会長よりあいさつ。